

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) a		選択	2	2	後期 (変則)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目標> ソーシャルワーク実践を行ううえで必要となる基本的な業務遂行能力 (コンピテンシー) を理解し、習得することを目的とする。</p> <p><概要> 教科書の事例等を使い、グループワークやディスカッションによりソーシャルワークの展開過程の基本について理解を図る。また、プレゼンテーションを行うことによって、コンピテンシーを習得する意義についての理解を深めるとともに、学生自らの取り組みを省察できるよう演習を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	ソーシャルワークの価値・知識・技術を前提とするので、関連する他の科目の教科書等も参考に予習をしてください。疑問を抱き教員への質問を積極的に行うことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [社会専門] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会福祉士に求められる価値規範に基づいた倫理的な判断ができる。		HSU(1)、(2)、HC(1)、(4)、(5)		
②	地域を基盤としたソーシャルワークについて理解し、説明できる。		HSU(2)、(4)、(6)、HC(2)、(3)、(5)		
③	社会福祉士に必要なコンピテンシーについて理解し、説明できる。		HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(4)、(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。実習及び実習指導の意義について学ぶ。	演習	内容の復習を行う。	4	
2	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ①] クライアントの気持ちを推考する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
3	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ②] インテークの準備をする。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
4	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ③] クライアント像を情報として整理する (フェイスシート作成)。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
5	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ④] クライアント像を共有する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
6	[アセスメント①] 本人のニーズ把握に必要な意思決定支援の方法を検討する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
7	[アセスメント②] アセスメントシート作成を通じて本人のニーズを把握する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
8	[プランニング①] 本人のニーズに即した支援内容を検討する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
9	[プランニング②] 支援計画を実施するための多職種連携について理解する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
10	[支援の実施とモニタリング①] 支援の結果を評価する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
11	[支援の実施とモニタリング②] 新たなニーズを踏まえて支援計画を見直す。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
12	[支援の終結と結果評価、アフターケア①] 支援の展開過程を分析する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
13	[支援の終結と結果評価、アフターケア②] アフターケアについて考える。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
14	[メゾレベル、マクロレベルの支援①] メゾレベル、マクロレベルのニーズを把握する。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
15	[メゾレベル、マクロレベルの支援②] メゾレベル、マクロレベルの働きかけについて考える。	演習	該当箇所の調べ学習を行う。	4	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	30	20	0	50	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	5	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	10	15
	発表・表現伝達する力	0	5	5	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	10	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	5	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		試験の実施方法と注意点				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業の全体を通してソーシャルワークに必要な専門性についてのレポート課題を課す。			結果を返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	プレゼンテーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。			授業内で適宜フィードバックする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ポートフォリオの実施方法と注意点				
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。 また、授業後のリアクションペーパー時に通知した設問への回答も評価に加える。			授業内で適宜フィードバックする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 						